



# キリスト教センター通信

2021年8月3日 リレーメッセージ第41号



## 「8月6日」

経済学部4年次生 青山ひかる

皆さんは、8月6日が何の日かご存知ですか？ 今から76年前の1945年8月6日午前8時15分、人類史上最初の原子爆弾が広島に投下されました。

投下から43秒後、地上約600メートルの上空で目もくらむ閃光を放って炸裂しました。原子爆弾は大量破壊、大量殺戮を瞬時にかつ無差別に引き起こし、数多くの人びとに放射線による障害をもたらし、苦しめました。私は、このようにたくさんの人びとの命を奪う核兵器がない世界になって欲しいと願っています。

チャペルでは毎年8月4日から6日にかけて学生が広島に行き、平和について学び、考える「ヒロシマ平和旅考」を行っています。私も参加したのですが、実際に資料館や慰霊碑を訪れると、平和について様々なことについて考えさせられます。一昨年にはみんなで千羽鶴を折り、平和公園に奉納する企画をたてました。学生や教職員のみなさんにご協力頂いて、鶴の1羽1羽に平和への願いを込めて折り上げ、無事に奉納できた時には、感謝の気持ち、達成感でいっぱいでした。

現在は新型コロナウイルスの影響でヒロシマ平和旅考は中止が続いていますが、皆さんにも平和について考え、そして核兵器のない世界になるよう願い続けて欲しいと思います。



世界平和のため  
真理と平和の源である全能の神よ、すべての人の心に平和を愛するまことの愛を燃やし、国々の交わりに携わる人びとに、平和をつくり出す知恵を与え、主の愛を知る知識をこの世に満たしてください。父と聖霊とともに世々に生き支配しておられるみ子イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

### ローマ教皇の言葉より

「武器を手にしたまま、愛することはできません。」 (ローマ教皇：パウロ6世\_1965年)

「戦争は人間のしわざです。戦争は人間の生命を奪います。戦争は死そのものです。過去を振り返ることは、将来に対する責任をになうことです。ヒロシマを考えることは、核戦争を拒否することです。ヒロシマを考えることは、平和に対して責任を取ることです。」

(ローマ教皇：ヨハネパウロ2世\_1984年)

「確信をもって、あらためて申し上げます。戦争のために原子力を使用することは、現代においては、これまで以上に犯罪とされます。人類とその尊厳に反するだけでなく、わたしたちの共通の家の未来におけるあらゆる可能性に反する犯罪です。」

(ローマ教皇：フランシスコ\_2019年)